

ふれあい  
トークサロン  
第33回

- 日時 **平成30年1月27日（土）** PM 2:30~4:30（曜日が変更になっております）
- 会場 **AP 秋葉原**（会場案内図は裏面をご覧ください）  
東京都台東区秋葉原1番1号 秋葉原ビジネスセンター 1階 TEL: 03-5289-9109
- 講話 『**がん治療における体に優しい腹腔鏡手術（小さな傷の手術）**』
- 講師 **吉田卓義**（よしだ たかよし）氏 練馬光が丘病院 外科系診療部長  
主な専門分野: 消化器外科・内視鏡外科・救急外科  

1965年4月生まれ。平成3年 自治医科大学 医学部卒。卒後9年間、自治医科大学の義務である地域医療に従事。平成12年～自治医科大学さいたま医療センター勤務、主に食道癌、胃癌の治療、研究に9年間携わる。  
平成20年～公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター（北区）に異動。  
平成24年～同協会 練馬光が丘病院（練馬区）の新規立ち上げを行い、現在に至る。  
地域医療振興協会入職後は、自病院で外科専門治療を行いつつ、全国僻地診療所、小規模病院への診療支援や、今後地域医療を支える若手総合診療家庭医の育成にあたる。
- 解説 近年、死因別死亡率1位はがんである。がん治療の進歩はめまぐるしく、抗がん剤、分子標的薬、移植、再生医療など次々と開発が進んでいる。がん手術においては、体に負担をかけないよう低侵襲手術が開発され、傷の小さな鏡視下手術が増加している。また、ロボット手術（ダビンチ手術）も一部の疾患では保険適応となった。一方で、手術の過大適応や、技術不足が原因と思われる患者死亡例をコントロールできていなかったとして行政処分を受けた大学病院もある。今回、胃がんを例として、日本では診断から治療までどのようにがん標準治療がなされているか、また、治療のなかで鏡視下（特に腹腔鏡）手術がどのように安全に導入されているか解説する。
- 参加費 **1,000円**（当日会場にていただきます） **先着50名**
- 申込期限 **12月28日（木）同封の「参加申込書」**または FAX 03-6240-9382 まで  
日退協ホームページからも申込みできます。



会場が変更になっております。ご注意ください！